

2. 来場者プロモーション

- 運営事務局によるプロモーション活動
 - ・E-mail DM 2-2
 - ・郵送DM 2-2
 - ・広告出稿 2-3
 - ・メディアタイアップ 2-3
 - ・メディアキャラバン 2-3
 - ・プレスリリースの配信 2-3
- 自社ブースへの来場者動員に活用いただきたいアイテム
 - ・DM&ゲストチケット 2-4
 - ・公式サイト原稿 2-4
 - ・ニュース投稿 2-4
 - ・来場者への提案 2-5
- プレスへのアピール
 - ・Best of Show Award エントリー 2-6
 - ・プレスルームへのプレスキット設置 2-6
- 会場での来場者データ取得
(バーコードリーダーの利用) 2-7

☆ 運営事務局が行うプロモーション活動

① E-Mail DMIによる集客

★ナノオプトメディア保有データベースをフル活用

- ・過去のInterop Tokyo来場者
- ・他のイベントでのターゲットオーディエンスリスト

配信約30万件X11回

② 郵送DMIによる集客

★ナノオプトメディア保有データベースをフル活用

- ・過去のInterop Tokyo来場者
- ・他のイベントでのターゲットオーディエンスリスト

★全国の「ITユーザー」

- ・製造業
- ・官公庁
- ・医療施設
- ・建設業

などをリストアップし情報システム部門宛に郵送

★後援団体を通じた会員等への配布

発送25万件

③ 広告出稿

★【新聞】: 経済紙(合計10段)、産業経済紙(合計10段)、専門紙(合計10段)、を予定

★【雑誌】: IT専門誌(合計8P)、ビジネス誌(合計2P)、を予定

★【オンラインメディア】: IT系ニュースサイト(合計約25アイテム)

経済・ビジネス系ニュースサイト(合計約20アイテム)

その他のサイト(合計約8アイテム)

リスティング広告

を予定

④ メディアタイアップ

★複数のメディアスポンサーにより、「Interop特集」を実施します。
(2010年4月より随時実施予定)

⑤ メディアキャラバンの実施

★主要メディアへのメディアキャラバンを実施し、イベントを事前にPRします。
(2010年5月中旬実施予定)

⑥ プレスリリースの配信

★会期までの間、定期的にプレスリリースを配信します。
(2010年4月より随時)

☆来場者を自社ブースへと動員するために、是非以下のアイテムを活用ください。

① 事務局にて用意するDM&ゲストチケットの活用（無料）

★重要なお客様やプロスペクトには、是非事務局にてご用意するDMとゲストチケットをお渡しして、自社ブースへの招待を掛けて下さい。

まずは**4月下旬**に、DMおよびゲストチケット、そして専用の封筒を100枚Xご出展小間数、お送りします。追加のオーダーは**出展社専用サイトの「追加ゲストチケット申込書」**ページから随時お申し込みいただけます。
また、「提出書類7-5」にご記入の上、FAXでお申し込みいただく方法もあります。。

追加オーダーは無料です。

●追加オーダー受付開始：4月20日より

② 公式サイト原稿の提出（無料）

★来場予定者の最大の情報源となるのが、Interop オフィシャルWebサイトです。このオフィシャルサイトでは、出展社様の一覧から、更に詳細な出展概要を掲載して来場者に情報公開します。出展概要は、各社様がそれぞれに出展社専用サイトの「公式サイト原稿」からご提出いただくこととなります。
なお、原稿は一度ご提出いただいた後も随時変更が可能ですので、まずは、お早目のご提出をお願いいたします。

●プロモーション活動が佳境を迎える**4月20日**までにはご提出いただくことをお勧めします。

③ ニュース投稿（無料）

★同じくオフィシャルWebサイトに、出展社様からのトピックを掲載するコーナーを設けています。上記の出展概要とは別に、当日ブースで行うキャンペーン情報や新製品の情報などがあれば、こちらを通じて来場者に訴求することができます。ニュース欄はオフィシャルサイトのトップページにあり、常に最新のニュース5件が表示され、それ以外のニュースも格納されて常時閲覧が可能です。ニュースの投稿数に制限はありません。トピックが発生した際は、是非コマメに情報を投稿ください。

【出展社専用サイトはこちら】
<https://vem.f2ff.jp/in2010em>

④ 個別の来場者ニーズへの提案（無料）

★3月17日現在、すでに展示会来場事前登録をスタートしておりますが、登録の際に取得しているアンケートにおいて、来場者それぞれのニーズについてお聞きしています。Interop来場時に、特にチェックしたい分野や、具体的に現在抱えている課題などについてです。事務局では、この来場者個別のニーズを出展社専用サイトを通じて出展社の皆様に公開します。（その際、来場者の個人情報には公開いたしません。職種や業種などの属性については公開します。）

出展各社様はこの「ニーズ一覧」をご覧ください、自社にとって顧客となりうると思われるものに対しては、その具体的な製品やサービスを投稿してください。投稿いただいた情報は各来場者ごとにまとめてプリントし、「Interop貴方にお勧めする見学ブース」として会期前に郵送でお送りします。

●サービス開始 : 4月9日より閲覧および回答の入力可能

【出展社専用サイトはこちら】
<https://vem.f2ff.jp/in2010em>

☆ ブースでのリード取得とともに重要な『パブリシティ』への対策に以下を活用ください。

① Best of ShowAward エントリー（無料）

★出展各社様の新製品やサービス、ソリューションをエントリーいただき、各カテゴリごとに審査を行ってグランプリを決定する『Best of ShowAward』を今年も開催いたします。業界識者で構成される審査委員会の、厳選なる審査を経て受賞を果たした製品には当然の如く注目が集まり、特に会期中に多数訪れるプレスの方々へのアピール効果が期待できます。

エントリーから受賞までの流れですが、まず出展社専用サイトからエントリーいただいた各製品を、5月下旬に開催される一次審査で審査しノミネート製品を選抜、そしてノミネートに残った全ての製品は、展示会会期前夜(6月8日)と初日(6月9日)に分けて審査員が直接各ブースを訪問し、最終審査いたします。そして、同日夜に開催される最終審査会にてグランプリを決定することとなります。

- エントリー開始 : 4月12日(月)
- エントリー締め切り : 5月20日(木)
- 一次審査会(ノミネート) : 5月26日(水)

【出展社専用サイトはこちら】
<https://vem.f2ff.jp/in2010em>

② プレスルームへのプレスキットの陳列（無料）

★会期中、会場にはプレスルームが設置され、各社の記者はここを拠点として取材活動を展開します。このプレスルームに、製品アピール用のキットを陳列することができます。キットは1点につき100部をご用意ください。点数に制限はありません。カタログだけでなく、プレスリリースなども添えておくと、より効果的です。

キットは展示会開幕前日(6月8日)18:00までに、ホール6の2階にあるプレスルームへ直接お持込みください。スタッフがお預かりし、陳列を行います。

本展示会では、入場するすべての来場者をバーコードにより管理しています。展示ブースでバッジのバーコードを読み取ることにより来場者データを収集することができます。さらに要望コード表を利用することにより来場者個々の属性などを付加したデータも収集可能になります。出展効果を高めるツールとしてご利用ください。

5月14日(金)までに**出展社専用サイト【バーコードリーダー申込書】**にてご利用の有無をお知らせください。なお、バーコードシステムを利用する場合は、個人情報の取り扱いに関する利用規約への同意をいただいております。

■バーコードシステム料金・納品方法

1. 利用料金

- (1) システム利用基本料(バーコードリーダー1台付) : 事務局負担
 - (2) バーコードリーダー2台目以降1台あたり : ￥21,000/台(消費税込)
 - (3) データ抽出費用1件あたり : ￥63/件(消費税込) ※重複データは1件として算出
- ※バーコードリーダーの貸し出しは会期前日を予定しております。

2. データ納品方法

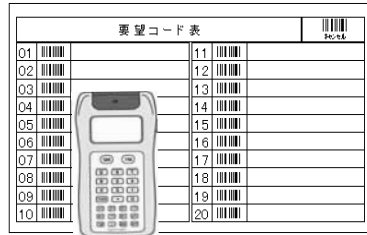
- ・会期終了後、「バーコード利用申込書」にご記入いただいた納品先メールアドレスに**ダウンロード専用URLとパスワード**の配信を行います。
- ・納品予定日(会期終了後1週間)に配信するアドレスから指定サーバへアクセスしていただき、所定のファイルをダウンロードしてください。ダウンロードの操作方法はメール配信時にマニュアルを添付し、お知らせいたします。
- ・セキュリティを考慮し、ダウンロード期間と回数制限を設けます。また、配信先指定は**1箇所のみ**となります。

■利用方法

①来場者バッジのバーコードを読み取る



②要望コードのバーコードを読み取る(要望コードを利用する場合)



③会期終了1週間後の納品

付加価値情報をプラスした、ブース来場者データを、専用URLよりダウンロードできます。



納品データは、エクセル形式なので簡単に加工処理できます。

■要望コード表の利用

要望コード表とは、各社独自の属性(要望)を付加することができるバーコード表です。

『ブースに来場された方に、カタログAとカタログBをお渡し。担当者は、伊藤だった』など、対応記録を会期終了後にデータとして入手することができます。要望コード表は、出展社任意で設定できます。

SAMPLE		要望コード表	
01	カタログA	11	担当:伊藤
02	カタログB	12	担当:鈴木
03	会社案内	13	
04		14	
05		15	
06	見積希望	16	担当:吉野
07	訪問希望	17	後日資料送付
08	商談希望	18	
09		19	
10		20	

■データの定義と入力文字に関する注意

データとして納品するものは、**個人名+連絡が取れる最低限の情報(TEL、メールアドレス、ファックス、住所のいずれか)が記載されているものすべて**となります。また、手書登録による判読不明文字は■で入力されます。ご承知おきください。

請求内容に関するお問合わせ先

Interop Tokyo 2010 運営事務局 株式会社ナノオプト・メディア内 担当:鶴久
TEL:03-6431-7800 FAX:03-6431-7850 E-mail: sales-info@f2ff.jp

バーコードリーダー使用方法、データ納品方法等に関するお問合わせ先

株式会社ネオネット 担当:上家(カミイエ)、鈴木
TEL:03-6430-3193 FAX:03-6430-3196 E-mail: edms@neonet-inc.jp